

減災道路整備に関する意見書

去る3月11日に発生した東日本大震災につきましては、日夜その復旧・復興に取り組まれていることに深く感謝申し上げます。

当市でも今回の震災では、道路などインフラ施設が破損したほか、海岸地域では津波により建物の倒壊や農地への海水流入による塩害など、これまでにない甚大な被害が発生しました。

震災から6か月が経過し、安定した生活に戻りつつあるものの、海岸付近の住民はいつ起きるかわからない余震と、近い将来高い確率で発生が予測されている東海地震や東南海地震、東方沖地震など大規模地震に不安も高まっています。

今回の千葉県内の津波被害は、九十九里浜沿岸地域が最も大きかったところですが、九十九里有料道路が防波堤となり、沿岸地域の中でも九十九里町西部から一宮町の間は比較的被害が軽微でありました。

つきましては、住民の生命と財産を守り、安心安全な生活環境の向上を図るためにも、大規模地震に備えた津波対策の一環として、山武市から旭市までの九十九里浜沿岸に、減災機能を兼ねた道路整備を強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年9月21日

千葉県山武市議会

衆議院議長	様
参議院議長	様
内閣総理大臣	様
財務大臣	様
国土交通大臣	様
防災担当大臣	様
千葉県知事	様